

滋賀県レイカディア大学 同窓会

甲賀・湖南支部だより

第25号
 滋賀県レイカディア大学
 同窓会 甲賀・湖南支部
 発行責任者 高山 雅史

表 紙

支部長就任にあたり	(31期 地文 高山 雅史)・・・P1
支部長退任にあたり	(21期 スポレク 鈴木 勲)・・・P1
本部表彰(米寿)受賞者	(18期 園芸 松井 彦一)・・・P2
支部活動報告	
甲賀・湖南支部定期総会	(31期 地文 高山 雅史)・・・P2
特別講演「岡山藩 鳥取藩 池田家の先祖地	甲賀市池田と檜尾神社」
甲賀・湖南支部理事会	(33期 園芸 竹内 重行)・・・P5
ボランティア活動部	(33期 園芸 高田 信男)・・・P6
同好会活動報告	
グラウンドゴルフ同好会	(27期 陶芸 小林 龍朔)・・・P7
里山ハイキング同好会	(32期 生活 大塚 勝義)・・・P8
みんなの広場	
奉公山でのささゆりの保全活動	(33期 園芸 竹内 重行)・・・P9
佐渡ヶ島探訪	(20期 文芸 奥嶋 寛)・・・P10
台湾(高雄、台南)旅行	(34期 園芸 浦田 好造)・・・P12
平成30年度本部定期総会報告	(31期 地文 高山 雅史)・・・P14
編集後記	(34期 健レク 木下 美恵子)・・・P14

再建された檜尾神社本殿 (4頁)



奉公山のささゆり (9頁)



佐渡ヶ島 (11頁)



支部長就任にあたり

31期 地文 高山 雅史

平成30年度の支部長に就任することになりました。支部規則を一新して3年目です。レイカディア大学同窓会活動は本来の同窓会活動と会員の地域貢献活動を同時並行で進めています。

厚生労働省の16年の推計では平均寿命が男性80.98歳、女性87.14歳です。健康に日常が過ごせる健康寿命が男性72.14歳、女性74.79歳となり、平均寿命との差は男性8.84年、女性12.35年となっています。この差の期間に本人の意志とは関係なく男女共程度に差はあるにしても少しずつ人の世話になっていきます。他人の世話になる終末を人はあまりイメージしたくないのですが、元気な期間は65歳の退職年齢からみると男女合わせて7~10年とそんなに長くありません。



ボランティア活動というのは他の人との付き合いによる本人のテンションアップが健康寿命向上のための大きな動機付けになると言われているのですが、幸い当会員の90%の人がすでにボランティア活動をしています。支部事業を通じてその活動の継続支援とともに、会員が自由に参加できるイベントをボランティア活動と一緒に楽しみながら、お互いの親睦を深められるよう進めたいと考えています。

支部長退任にあたり

21期 スポレク 鈴木 勲

2年間に渡って副支部長、支部長を務めさせていただきました。今、大役を退きほっとしています。

2年間各種事業を進めるに当たり、分業して積極的にかかわって頂いた理事に感謝しています。有難うございました。

レイ大を卒業され、各地域で個々に活躍されている方々が多いのが、アンケートで如実に示され、結果が出ています。

少し残念なのが、支部活動がやや特定の方に依存していることです。できるだけ多くの方が支部活動にも目を向けていただき、甲賀・湖南支部を盛りたててより絆を深めて頂くためにも、一度は理事に参加して交流を深めていただきたい。

私も支部活動でこれからも魅力ある行事にぜひ参加をして行きたいと思っています。

本部表彰（米寿）受賞者

本年度の甲賀・湖南地区よりの本部表彰対象者（米寿）者は、岡田 治茂様、松井 彦一様、清水 敏夫様、山中 茂様で、松井様は本部での表彰式に出席されました。おめでとうございます。

ここに、松井様にお願いした感想文を掲載して、祝福したいと思います。

受賞者のことば

18期 園芸 松井 彦一

平成30年度レイカディア同窓会総会時に会長様より米寿のお祝いを戴きありがとうございます御座いました。

昭和、平成その次は決まっておられませんが戦中戦後と幾多の経験を積んで今日に至っております。

人生100歳時代と言われますが国鉄改革を始め幾多の改革をされた元総理の中曽根さんがお元気で100歳を迎えられ活躍されていると聞きます。

私は残念にも週三回の人工透析のお世話になり20年になります。家族にも社会にも迷惑をかけ同窓会にも透析日と重なり出席できなくて残念ですがせいぜい出席したく思っております。人間は足腰より弱ると言われますが私は毎朝のラジオ体操と4キロメートルのウォーキング、毎夜の腹筋を心掛けて生活しております。

最後になりますが同窓会のますますのご発展を祈念致します。



甲賀・湖南支部 定期総会

平成30年4月26日 13:30~15:30

水口中央公民館

定期総会は同窓会員118名中32名の参加で開催しました。開会宣言後昨年亡くなられた石部町の三大寺さんと信楽町の杉本つた子さんに黙とう。

レイカディア賛歌斉唱の後、平成29年度事業報告、会計監査報告が了承されました。そして平成30年度の事業計画、および予算案が発表されました。

本年度の計画は支部同窓会をより身近に親しんでもらうことを



第一に進めて行くことになりました。

その方法として昨年と同じく研修旅行は遠くに出かけず親睦会的にこじんまりと費用も抑えて多くの会員が参加しやすいようにする。

またボランティア活動部の活動も除草、公園の整備等会員が一斉にやる方式で実施する。広報誌(支部だより)、同好会活動(グラウンドゴルフ、里山ハイキング)などを通じて事業内容を知ってもらうなどの対策を織り交ぜながら、その他の通年行事はそのまま継続しつつ支部活動の活性化を図ることとなりました。

本年度事業方針了承後 新役員の紹介も行われました



高山新支部長(左)、竹内新副支部長(中央)、山崎新会計

特別講演：鳥取藩・岡山藩 池田家の先祖の地 甲賀市池田と檜尾神社

特別講演は、郷土歴史家の池田一夫氏に、檜尾神社に関するお話をいただきました。現在甲賀町の池田地区には池田姓は2軒しかないが、池田地区に古くからある檜尾神社に関心をもって調べたところ、鳥取藩・岡山藩と繋がる驚くべき事実が判明した。

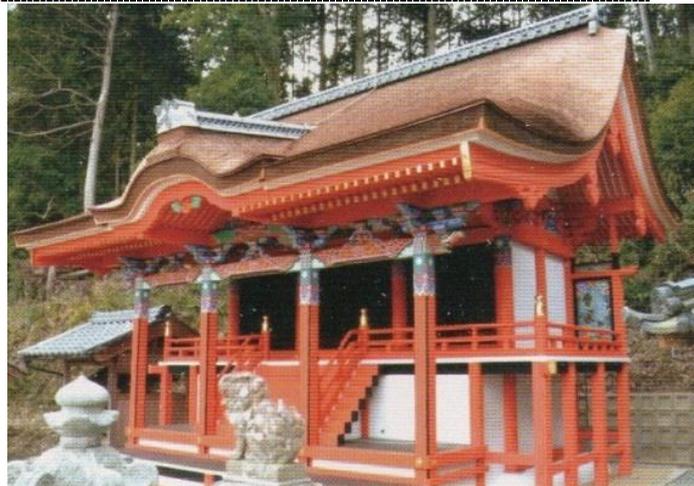
すなわち、鳥取藩主の先祖・池田恒利は、もともと滝川姓であったが、池田氏の娘を娶り池田姓となった。恒利の嫡男・恒興は、織田信長と「乳兄弟」であったが、恒興は信長の成長とともに頭角を表すようになった。

鳥取・岡山を治めた池田家の先祖である池田信輝(恒興)は、池田の出身で檜尾神社の社殿を建立したとの社伝により、檜尾神社神職小川家は池田家の承認を得て、その家中や城下町で配札や祈禱を行なった。

このことを含め、配布資料を元に詳しく説明しましたが、甲賀・湖南支部にとっては地元のことであり会員の皆さんは興味津々の講演でした。

(資料の1部を次頁に転載します)





再建された本殿(県指定有形文化財)

榎尾神社

鳥取藩・岡山藩両池田家の先祖の氏神

当神社は、江戸時代、鳥取藩・岡山藩両池田家の「先祖の氏神」として信仰を受けており、両池田家への祈祷札の献上や、家中・城下でのお札の配布が許されていました。

両藩との深いつながりを示す文書が、当神社や両藩の藩政資料に多く残されています。さらに、両藩の先祖で織田信長の有力な家臣である池田勝三郎信輝(恒興)が、天正八年に本殿を寄進したことを示す棟札が残っています。

又、鳥取藩池田家の家系図には、「榎尾神社の項」があり、詳細に記されています。

池田信輝の母(養徳院—織田信長の乳母)は、この家系図等では、「江州池田氏の娘」とあり、夫の池田恒利は、最近では元滝川姓であったとされています。どちらも有力な甲賀武士団の一員でした。池田信輝の子に、姫路城で有名な池田輝政がいます。

「太閤記」は、池田勝三郎は近江国の出身、と記しています。これらのことから、当地の池田氏と滝川氏との養子縁組で出来た池田氏が、両藩池田家の基であり、当神社が「先祖の氏神」であったことを示しています。

- 参考資料
- ・ 甲賀市史
 - ・ 平成26年度特別展「鳥取のお殿さま」
(鳥取市歴史博物館)
 - ・ 他

(記 : 支部長 高山 雅史)

甲賀・湖南支部 理事会報告

5月8日、6月14日に水口中央公民館で開催した理事会での報告事項は次の通りです。

- 新会長あいさつ..... 高山
- レイカディア大学同窓会本部定期総会等の報告事項 高山
 - ・ 「定期総会ダイジェスト版兼議事録」は、別途会員に配布。
 - ・ 本部表彰（米寿）対象者4名中、定期総会出席者1名（松井 彦一氏・土山）
 - ・ 8月1日～3日に大学祭を開催
 - ・ 11月に近江八幡市「ひまわり館」で「地域活動発表会」を開催
 - ・ レイ大必修講座の有料聴講開催（1年に4回。参加費用千円/回は同窓会負担）
 - ・ 7月10日に「甲南ボランティアセンター」で「人権研修」開催

○理事会で審議した年間計画は次の通りです。

※ 体育部 田村理事

7月10日に第1回の支部グラウンドゴルフ大会を野洲川グラウンドで行う

集合時間 13:15 試合開始 13:30

会費 500円

参加者はFAXまたはメールで地区担当理事に申し込む。

※ 文化広報部 浦田理事

7月15日に「甲賀・湖南支部だより」発行。 原稿締め切りは6月30日

※ ボランティア活動部 高田理事

9月25日に「ボランティア活動の日」を設定。

10:00～15:00の間

水口岡山城 登山道の清掃及び石垣の雑草除去等

詳細は別途発表

※ 作品展、新入生歓迎会 小林理事

○10月17日、18日に作品展 18日に新入会員歓迎会開催

場所 水口中央公民館

新入生歓迎会はその後講演会かアトラクションを予定。

※ 研修部 寺崎理事

○ 11月6日に研修旅行を行う。 後日理事会で詳細発表



(記 : 副支部長 竹内 重行)

ボランティア活動部報告

ボランティア活動部

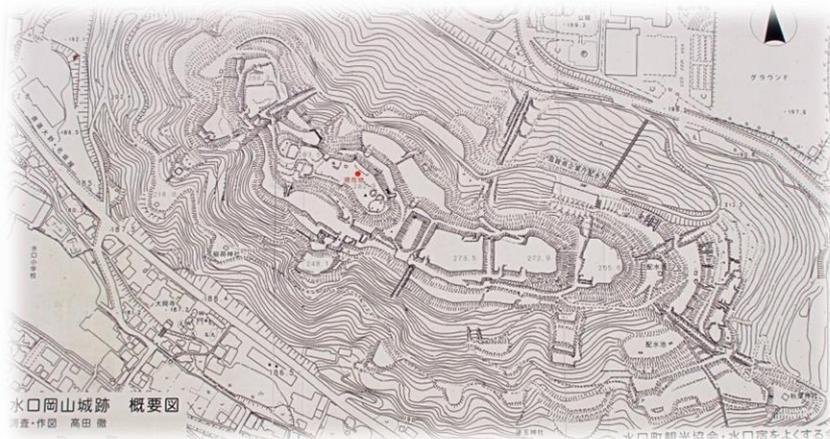
平成30年度 「ボランティア活動の日」への参加ご案内！

レイ大同窓会 甲賀湖南支部では平成29年度から「ボランティア活動の日」を制定し、その最初の取組として、平成29年11月14日に国の史跡指定を受けた水口岡山城跡において開催することとし、29名の会員が参加する旨連絡を受け、ボランティア保険への加入や昼食の申込等、活動体制の準備を整えましたが、前日夜から当日の午前中にかけて、雨風が強く、やむなく中止の決定をしたところです。

今年、4月の総会でも再挑戦しようのご意見も頂きましたので、今年こそ好天で活動できることを念じながら、次の通り計画いたしましたので会員各位相互にお声掛け頂きながら多くのご参加を頂きますようご案内申し上げます。

水口岡山城では、年々発掘作業も継続されていて、活動作業の午後、現地で担当学芸員から解説して頂く予定です。

当日参加の会員は9月15日までに自分の地区担当理事にご連絡下さい。



平成30年度 ボランティア活動の日

- 実施日** 平成30年9月25日 (火) 午前10:00～午後3:00
実施場所 「水口岡山城」山麓より登山道の清掃・整備活動と歴史を学ぶ
～国の史跡指定を受けたことを機に、水口岡山城を学び、親しむ～
集合場所 水口 古城山(岡山城)登山口(旧1号線 国鉄バス車庫跡)
活動内容等 古城山管理者と協議中ですが、登山道の清掃及び石垣の雑草除去など無理のない範囲で行う予定です。

詳細は後日、案内文をお届けしますので多くの皆様のご参加を期待しています！

(記 : ボランティア活動部 高田 信男)

グラウンドゴルフ同好会活動報告

いつもグラウンドゴルフ同好会をご支援いただきありがとうございます。

6月19日現在の会員数は30名ですが、本年度は会員各位気楽な井戸端会議風に肩の荷を降ろして会を世話させて頂きたいと思えます。

同好会では年間大会を6回、オープン大会を1回、計7回開催しています。

平成30年度に入ってからのは活動は、4月18日に水口野洲川GG場で第1回の大会、6月19日に甲南杣川GG場で第2回の大会を開催しました。

ちなみに第1回、第2回の成績の上位者は次の通りです。

第1回：第1位：木田さん、第2位：木村さん、第3位：市井さん

第2回：第1位：畑中さん、第2位：東さん、第3位：田村さん

第3回以降の予定を下記に記載します。

第3回 8月22日：土山 青土エコバレーGG場、

第4回 10月16日：湖南市 親水公園GG場

第5回 12月12日：甲南 杣川GG場

第6回 2月19日：水口 野洲川GG場

オープン大会 3月20日：水口 野洲川GG場

四季折々の風景をバックに一打に一喜一憂しながら皆様との交流を図っています。又初心者にも考慮して参加点やハンディを設け誰でもが優勝できる配慮をして活動しています。グラウンドゴルフ同好会への入会希望者は、氏名、住所、卒業学科・期 電話番号を記入して、下記の世話役にお申込み下さい。

年会費 500円

申込先 小林 龍朔氏 (新年度世話役)

甲賀市甲南町希望ヶ丘2-2508



(記：グラウンドゴルフ同好会 小林 龍朔)

里山ハイキング同好会活動報告

同好会では4月3日(火)に今年度第一回行事として「伏見桃山城花見」を実施しました。古い伏見城は既に廃城となり、現在跡地には模擬天守がそびえ周辺は伏見桃山運動公園となっています。

当日は初夏を思わせるような陽気な気温の中、10:30に参加者8名がJR藤森駅からハイキングを開始しました。周辺は閑静な住宅が立ち並び、舗装されたなだらかな道を通り抜けて最初の目的地「古御香宮」に立ち寄り参拝しました。参拝後は桜をはじめ様々な春の花が咲いている「伏見北堀公園」を散策しながら、運動公園ゲートから天守閣エリアに到着。暫く休息したのち記念写真や昼食をとりましたが、時折舞散る満開の桜の下での食事は格別な味わいでした。また、周辺には家族連れなど多くの花見客が訪れていて大変にぎわっていました。

昼食後は大手筋通りから龍馬通りを歩き、坂本龍馬が逗留した「寺田屋」の史跡を訪問、龍馬ゆかりの多くの資料を拝観しました。近くには千石船の乗り場や白壁土蔵の酒蔵群などがあり、ゆったりとした気分で散策が出来ました。

次に「月桂冠大蔵記念館」に入り、酒造り用具と月桂冠の歴史資料を集めた展示室を見学、見学の終わりにはキキ酒処で銘酒の試飲を勧められて気持ちよく記念館をあとにし、最寄りの近鉄桃山御陵駅から帰路につきました。

今回は夏日に近い気温のもと少し長めのハイキング行程となりましたが、無事に終わることができて楽しい一日となりました。



(記: 里山ハイキング同好会 大塚 勝義)

奉公山でのささゆり保全活動の紹介**33期 園芸 竹内 重行**

ささゆりは、日本原産のユリで、「甲賀市の花」でもありますが、以前ほど目にするものが少なくなり、甲賀市の絶滅のおそれのある「レッドリスト」にも掲載されています。

里山に咲くささゆりは、競争相手のネザサやススキの勢いに負けにくい(痩せた土壌)環境で育ち、且つ人間が適度に管理(冬に一度だけ草刈)する場所で群生できることがわかりましたが、人が薪炭等の燃料や落葉等の堆肥原料を求めて里山と関わった時代が無くなると共にささゆりも消滅するようになりました。

葉の形が笹の葉に似ているので、ささゆりといわれますが、5月下旬から6月に開花する淡いピンク色の花で、強い(甘い)香りがある可憐な花です。

しかし、病気や害虫(ナメクジ)に弱く、種から花が咲くのに5~10年もかかるにも関わらず、花が咲くのは10日間と短く、更に、せっかくのつぼみが猿や鹿の獣害に会うこともあり、花を咲かせるのはなかなか大変です。最近では更に心無い人による盗掘もおこっているのは残念なことです。

「みなくちこどもの森」では、6年前からささゆりの育成と保全を目的として、「ささゆりサポート隊」が活動しています。現在のメンバーはレイ大の現役生、卒業生19名から成り、33期園芸学科の田代豊嗣氏が技術的な指導を行っています。

田代氏は、甲南町竜法師の奉公山に於いても、「竜法師いきいきクラブ ささゆりを育てる会」を立ち上げ、ささゆりの育成に尽力されていますが、写真に見るようにたくさんさんのささゆりが今年も咲きました。奉公山は、名神甲南インターチェンジに近くにあります。

「ささゆりサポート隊」の主な活動拠点は、「みなくちこどもの森」の園内です。関心のある方は、竹内 重行(電話 090-2284-5245)迄、連絡願います。活動時間は、11月より翌6月迄、1~2回/月 1~2時間/回です。



佐渡ヶ島探訪

20期 文芸 奥嶋 寛

私は家族旅行を過去二十年来年中行事の様にして来ました。二人が見聞きした知識を共有し、後々迄話題と思い出を語り合える楽しさに幸を感じています。

今年は5月28日から三日間佐渡ヶ島新発見のツアーに参加、梅雨前のさわやかな五月晴に恵まれ、佐渡ヶ島の文化や歴史、産業を探訪しました。そして想像以上の感動と理解を得る事が出来ました。その一端を御披露したいと思います。

京都駅から特急サンダーバードで金沢駅迄、金沢からは東京行新幹線「はくたか」で上越妙高駅迄、快適な車中を後にして雪で真白な頂の妙高山に迎えられ下り立ちました。

更に直江津港迄はジャンボタクシーを連ねて乗り継ぎ、いよいよ高速カーフェリー「あかね」に乗船、今日は凧の様な日本海の航海が始まりました。

佐渡は島流しの地、内地を追われた人のいた事が頭をよぎります。高速艇でも1時間40分は要する遠隔の島、航海中は晴れた時でも何の景色も目に入らない孤独の旅です。私はパズル数独で時を過しましたが予定された時間には眼前に佐渡ヶ島が現れ南端の小木港に上陸しました。

早速観光バスで見学コースに入りました。以後は時間の前後は抜にして記述します。

その①見渡す限りの平野、整備された水田にはバルブ操作で水管理が出来る設備に目を奪われた。又現地の方の御自慢されるおいしい味の米、産地品種は「こしひかり」、旅館で食べて納得しました。佐渡は冬は二度温かく夏は内地新潟より二度涼しくて住みよい。

その②平野の果に横たわる雄大な連峰1170M級も有るといふ、広大な景色に驚く。この山が田園を潤す水源なのかもしれない。

その③昔神社、仏閣が島内に五百以上あり、壮大さを誇る国分寺もあった。七重の塔、金堂廻廊、南大門の礎石が発見されている。現存する神社や寺も多く文化財も数多い。中でも江戸時代に建られた日光東照宮を模した五重の塔は国の重要文化財に指定、神社では古式祭礼が随所で斎行されている。厚い宗教心の有る風土を感じる。

その④古代より能が発展した島、室町時代に能の大成者世阿弥が島に配流され、猿楽士大蔵を父に持つ有能な大久保長安が代官頭として能楽師をつれて赴任してから能が庶民に迄浸透し、学校の授業にも取り入れられた様で、以前は能舞台も二百棟を越した。能の大会も盛んであった。現在は神社を中心に三拾五棟が活用されている。こうした文化も金山の繁栄が後押ししている。

その⑤佐渡と云えば金山伝説、初期は川砂を洗って砂金の採取であったが江戸時代には金脈の発見が進み坑道を掘って硬い塊を採取、粉碎し水に依る比重選で仕分して金の採取がされていた。徳川幕府は佐渡一國を直轄領として力量の有る代官頭を派遣して作業人を増し、相川の寒村が一気に四、五万の都市に一変された。産出した金は小判とし



て幕府の財政を支えた。明治二年には西欧の大型機械が導入され、国策に依り大量生産、貿易品の資金に当られた。併し徐々に生産は減少し平成二年に閉山された。約四百年も採掘され栄華を極めた鉱山の歴史を、今は遺鉱や遺物で学習し当時を偲ぶことが出来る。

その⑥佐渡は「トキ」の里、トキの森公園には国のトキ保護センター有り、又ドジョウ等餌を購入して生息保護に努め繁殖にも貢献され現在二千五百羽を確認出来る様になった。この時期繁殖期なので羽根の色がグレーに変色すると教わった。

その⑦島の観光スポット、佐渡は天然の観光地、海の青さ、奇岩に満ちた海岸、花の群生、高い山脈。佐渡は島の周辺に道路が整備され青い海、海岸の岩、美しい折々の花のコントラストが良くドライブも飽が来ない。島最北の大野亀は山の様な大きな岩、中腹から岸壁を見おろせば海底を覗き見る様な清水だ。裾から連なる手前帯は椀を伏せた様な形状の丘でカンゾウの大群生地観光スポット、黄色に被おわれたのどかさは言葉に出来ない。2KM程の所に二つ亀観光スポット、巨岩が亀の形に見え二つ重なり連ねている景色、夏は水質良い海水浴場として国際的な認定を受けている。トライアスロンの水泳部門の会場になっている。



その⑧尖閣湾楊島遊園地、陸上から海上からも楽しめる観光スポット、グラスボートに乗船して海底を覗く。大小の魚や海草観察しながら湾をこぎ出し日本海百選に入る複雑怪奇な岩場の景色にウミネコの大群が集まり異国の様な景色を堪能した。

その⑨佐渡の産業酒造業、おいしいお米に良質の水、最適な気候と三拍子揃った佐渡は昔から酒造は盛んで自慢の酒を出荷している。尾畑酒造の「真野鶴」は今年も金賞に輝く。ここでは見学と試飲会で賑った。農業の活気も伝わって来た。

その⑩最後はタライ舟体験。艶やかな赤いタスキで軽やかに櫓をあやつるお娘さんに導かれ八十過ぎてタライ舟に乗舟、二人一組で14隻が波静かな湾にこぎ出す。年寄客でも粋な風景、途中で櫓をにぎったが前進のはずが後進したり回転したりむずかしい。これぞあの世のお土産だろう。

天気にも恵まれ三日間の旅行も終る頃、私達は満足と喜びで御世話になった方々に又お互い初めて出会った仲間にも感謝の気持でお礼を交し、帰路につきました。



台湾（高雄、台南）旅行に参加して

34期 園芸 浦田 好造

5月には猛暑が到来する為、4月迄が観光に良いと聞いていましたので、4月初めに、子供達よりプレゼントされた旅行券を使用し、喜寿記念に妻と2泊3日の台湾南部ツアーに参加してきました。

例年がない異常気象の最中でしたが、幸いにも日本が20℃、高雄が27℃と大きな温度差も無い日に恵まれ、さらに南部は北部に比べて雨も少ないとのことで、天気にも恵まれ快適な旅になりました。

10年ぶりの台湾訪問でしたが、最近は観光等に関する現地情報がYoutubeの動画等で見られる時代になっていますので、それほどびっくりすることも少なくなりました。それでも、現地ガイドの話聞いて知らないことが多く、感心することも多々ありました。

例えば、台湾では共働きが普通である。したがって食事を作る手間を省く為の外食が多い。その為、屋台等の外食産業が盛んであるので、安く利用できるとのこと。1日3食とも外食の場合もあるそうです。又、5月になると気温が35℃にもなり、仕事の能率も落ちるので、昼食時間は90分が普通で、机での昼寝等による30分以上の休息を取っている。それが日本のビジネスマンには異様にみえるらしい。



通常、17時に仕事が終わるので、涼しくなる夜が娯楽の時間となる。毎日18時から24時まで食べ物、飲物、ゲーム等いろいろな屋台が同じ場所で開店しているので利用しやすい。

現在人口2600万人の台湾に1600万台のバイクがあり、街中にはバイクがあふれていましたが、台湾でも環境改善対策としての排気ガス規制が厳しくなり、2019年より排気ガス対策がとれない50CCバイクは使用できなくなるとのこと。

高雄市内でも環境改善を目的とした太陽電池利用の遊覧船や、新型のドイツ製路面電車が導入され環境改善に取り組んでいる姿勢がみられました。なお、電車の乗車券は自販機での購入のみで、乗車券のチェックはなく、もし抜き打ち検査での乗車券なしがみつかりと非常に高い罰金が科せられるとのこと。

又、安全対策も厳しく、シートベルト未着用は、本人はもちろんですが、指導すべき運転手にも罰金が科せられ、更に



高速道路の場合は罰金が4倍にもなるそうです。

市内でびっくりしたのは、セブンイレブン（台湾人経営）、ファミリーマート（日本資本）といったコンビニが約100m間隔であることで、よくこれで経営が成り立つなと思いましたが、大きなスーパーも少なく、コンビニが自動販売機の代りを務めており、飲食物の販売が多い台湾では経営が成り立つとのこと。又現金と現物が入っている自販機は外では荒らされる危険があるとのこと、自販機もコンビニ店内に設置されていました

10年前と大きく違うなと感じたのは、ビンロウ販売店が激減していたこと。世代交代と衛生上の問題から減少したそうです。

ネット情報では、現在、日本人に人気のある観光地は、ハワイと並んで台湾だとのこと。たしかに、治安がよく物価も安いのでお勧めの観光地だと実感しました。

ちなみに日本では高価な、写真にみるアイスクリームみたいなマンゴーかき氷が30元（約120円）で、多くの食べ物が100元以下で手に入ります。

今回の台湾南部旅行では、台湾の航空会社（エバー航空）を利用した為か、高雄行きの飛行機の乗客に日本人は1割程しかおらず、又高雄、台南の観光地でも日本人には団体旅行中の6人に会った位でした。異国情緒たっぷりでした。

最後に、訪れた有名観光地の一つである寿山公園、龍虎塔、蓮池潭の写真を紹介します。



平成30年度本部定期総会報告

平成30年5月26日(木) 県立長寿社会福祉センター内のレイカディア大学草津校大教室に於いて県下各支部104名出席の下盛大に開かれました。議事に先がけ29年度に亡くなられた物故(24名)への黙禱の後長寿者(米寿)への慶祝の義が行われ、24名中10名の出席者に礼状と記念品をお受け取りいただきました。甲賀・湖南支部関係で4名が対象となり、松井彦一氏が出席されました。

慶祝者(88歳)	松井 彦一氏	18期	園芸	土山
	岡田 晴茂氏	23期	園芸	土山
	清水 敏夫氏	17期	文芸	甲賀
	山中 茂氏	21期	文芸	甲賀

<本部活動方針> (議事録配布)

マナー化を脱する対策として新しい価値観の創造を目指す。

- > 一般社会への周知
- > 学長との懇談会
- > 聴講の実施
- > 会報による周知とHP(ホームページ)の充実
- > 地域活動の充実
- > 同窓会の法人化への具体的検討

記念講演

「公証人の目から見た日本」

長浜交渉人役場 公証人 井内省吾氏

公証人と言うのは一般には仕事の内容がわかりにくいとされている。井内氏の説明は公証人とは、裁判所で争いたくない人の裁判官であり、仕事の実体は本人の意思の確認で、仕事の半分以上は遺言、任意後見など高齢者相手の仕事である等具体的にお話しいただきました。
(記 : 支部長 高山 雅史)

編集後記

年齢を重ねるにつれ、月日の経つのが早く感じられます。それでも焦ることなくのんびりと過ごしてきましたが、この度、広報部担当になり主に「甲賀・湖南支部だより」と「ホームページ」の作成を担うことになりました。

会員の皆様に「甲賀・湖南支部だより25号」をお届けする日を想定して、編集方針とか原稿依頼とかいろいろな事が決まっています。「物事を計画的に進めていく」ということを久しぶりに実感しました。

頼もしい先輩方と一緒にするので何の支障もないのですが、より良い「甲賀・湖南支部だより」にするためには、会員の皆様方からの「投稿記事」が大きな力となります。

レイ大の思い出、卒業後の人生、文芸活動(写真、絵画、書道、絵手紙、俳句、川柳等)、地域活動・ボランティア活動団体の紹介、地域行事の紹介、各種行事参加報告、同窓会活動に対する要望、旅行記等原稿作成のご協力をよろしくお願い致します。
(記 : 木下 美恵子)